



# ぐんまPTA広報

Gunma Parent Teacher Association Public relations

第113号

平成30年2月1日

発行所

群馬県PTA連合会

前橋市文京町2-20-22

TEL 027-224-2816

http://www.gunma-pta.net/

E-mail info@gunma-pta.net

平成29年度

## 文部科学大臣表彰・日本PTA会長表彰

今年度は11月17日(金)に東京のホテルニューオオタニで行われました。

文部科学大臣表彰	
沼田市立薄根小学校PTA	
東吾妻町立原町小学校PTA	
日本PTA会長表彰	
団体	伊勢崎市立広瀬小学校PTA 高崎市立中央小学校PTA
個人	岸 龍也 (前県P連副会長) 青木章子 (前常任理事)
第39回全国小・中学校PTA広報紙コンクール	
教育家庭新聞社社長賞 前橋市立第五中学校	

第49回

## 日本PTA関東ブロック形成功 群馬大会

実行委員長 竹内 一普



実行委員長 竹内 一普



挨拶 岩村会長

九月末、衆議院総選挙の投票日が十月二十二日という発表にびっくり仰天しました。さらに十月中旬に入りまさかの台風二十一号接近。駅周辺では大型商業施設のオープンと重なり、参加者の皆さまに大きなご不便をおかけしてしまうのではないかと心配されたなかで当日を迎えることになりました。

小雨が降る二十一日。雨合羽を着た高崎市P連メンバーが各所で誘導を開始。そんな姿をみて「心配をしている場合ではない！最高のおもてなしをする！」と自答しました。県内十九の郡市PTA連合会・協議会と家庭教育委員会との準備と二十校の研究発表により、各会場は大きな成果を上げていただくことができました。分科会を一緒にした日P東川会長より「会場運営が良い！雰囲気も良い！特に講師陣が素晴らしい。」とお言葉をいただいた時は群馬のメンバー全員が誉められたのです。

二十二日、二千席の会場は熱気に満ち溢れました。式典後、農大二高吹奏楽部による驚愕の二十分間。感動の涙と笑顔で会場がひとつになったのです。「本当に美しいもの、大切な事とは？」高校生から教えてもらおうとは思いませんでした。この演奏テーマは記念講演の阿部祐二氏の演題「いじめ問題・教育問題」とつ

ながるものでした。その後、来年開催地である新潟県小中学校PTA連合会および新潟市小中学校PTA連合会への大会旗の引継ぎも完了し、新潟県、新潟市の皆さまより温かいPRをいただきました。

開催前に心配していたことはすべて仲間たちが臨機応変に対応してくれました。今大会を開催するにあたりご指導いただきました関東ブロックの皆さま、ご尽力いただきました関係機関、群馬県PTA連合会の仲間と事務局の方々、県内郡市PTAの皆さま、高崎市PTA連合会の仲間や事務局の方々、すべての方へ心より感謝申し上げます。



祝辞 大澤知事

### 群馬県PTA広報紙コンクールに応募してみませんか

平成29年度発行(年2回以上発行が対象)の全ての号を2部ずつ封筒に入れ、「広報紙コンクール応募作品」と朱書きし、平成30年3月30日までに県P連事務局に郵送または持参してください。コピーは不可です。(詳しい募集要項は郡市P連を通じ各単Pに配付します。)



### 一般社団法人群馬県PTA安全互助会から

PTA安全互助会は、PTA活動中に傷害事故に遭われた会員に共済金等の給付を行うなど、会員が安心してPTA活動に参加できるよう事業を実施しています。

昨年度は、64件の事故が発生しおよそ280万円(平成27年度中の事故に給付した金額を含む)の共済金等を給付しました。

本年度は、12月現在で62件の事故が発生しています。PTA活動は、事故防止が一番大切なことですが、事故が発生したときには速やかに安全互助会への手続きをしてください。

### 群馬県小中学生総合保障制度のご案内

(こども総合保険)

群馬県PTA連合会推薦

お子さまの病気やケガ、第三者への賠償事故等、備えは大丈夫ですか？

お問い合わせ先

◆契約の内容照会・変更・資料請求など◆

取扱代理店：株式会社アイ・エス・オー 370-0852

高崎市巾着町4-22-9 L Sビル203

☎027-386-2600

受付時間：月～金

9:00～12:00 13:00～17:00

◆事故の受付・保険金の請求など◆

事故受付窓口：

東京海上日動火災保険株式会社

(フリーダイヤル)0120-119-110

受付時間：365日 24時間

### 「関東と甲信越静」つなぐ高崎市

全体部会長 神宮 嘉一

第四十九回日本PTA関東ブロック群馬大会は万雷の拍手の中閉幕した。帰りゆく人たちはやや上気した面持ちで、良かった、感動した、涙がこぼれた、高崎まで来た甲斐があった、と誰もが満足した表情だった。ここに至るまでの道程は決して平坦ではなかった。およそ三年前、群馬で閉口を開催することが決定し、七つの分科会と全体会を一緒にして高崎で開催できないか？との打診からそれは始まった。何年も先の会場の手配、入れ替わるメンバーと組織、予算の確保、他の大会への視察やPR活動、県P・高崎市P・関係行政機関との調整、個々の意見のとりまとめ等々思い返すときりが無い。最初はよそ行きのメンバーたちも、侃侃と意見をぶつけ本気で向き合った。喧嘩もした。顔をそむけることもしばしばあった。けれどいつの間にか絆が芽生えていった。当日を迎えるにあたり、まさかの総選挙、まさかの台風。不安要素だらけの密なのだが、不思議なこと、周りも自分も割と落ち着いていたのは、恐らくPTAの仲間たちの見えない絆が支えになってくれたのだと思う。

分科会では担当の郡市メンバーが輝く笑顔で出迎えてくれた。大雨の中、街中では高崎市P連スタッフが親切に誘導してくれた。全体会では農大二高吹奏楽部の圧巻のパフォーマンスに心を打たれ、阿部祐二氏の人柄が経つのを忘れた。何もかもが素晴らしい。大会は大成功だった。しかし、最も輝きを放っていたのは、一つの目標に向かってPTAの仲間たちと共に過ごした大切な時間だったと思う。今まで関わってくれたすべての人たちに感謝。



アトラクション 農大二高



記念講演 阿部祐二氏

### 「やってみよう！」笑顔に包まれた分科会

分科会部会長 佐藤 貴雄



第1分科会

突然の衆議院解散による総選挙と季節外れの台風襲来予報。三年にわたって準備してきた関東ブロック大会は波乱の予兆たつぷりに始まりうとしていました。

私が担当する分科会は、高崎市内七会場にて組織運営や情報、家庭教育など、現在のPTAが内包している七つの課題をテーマとして開催しました。ここに至るまでは文字通り紆余曲折。各分科会を担当する県P役員・理事と事務局、それぞれの郡市Pの皆さま、多くの方々の知恵と時間と労力をいただいていた歩んできた道筋でした。

分科会当日、雨合羽を羽織って雨の中を笑顔で道案内してくださった高崎市P連の皆さま。各会場では県内各地から集まったスタッフ、統括や運営責任者の号令のもと早朝からきびき



第4分科会

翌日の全体会で行う分科会報告で使うプロモーションビデオ作成の写真選びは、スタッフと参加者、会場にあふれる笑顔を見ながら明日を思うとワクワクしてきます。

やってみよう！と、曲にあわせた笑顔ははじけた分科会。最後はみんな「キリッ、チュウモーク、レイ！」



### 高崎市 中居小学校

本校の校章の由来は、永遠にその位置を変えずに輝いている北極星の中に「中居」の文字を置き、誇り高い指導性を示しています。北極星は別名「北辰」「辰」は東から三十度南の方位であり、中居小学校は市の中心部からちょうどこの位置にあります。さらに開設は辰年でもありました。北極星に重なる斜めに置かれた正方形は佐野、城東、大類、岩鼻に囲まれた位置付けと地域性を示しています。

そのような校章を掲げている我が中居小では、子どもたちが安心、安全、明るく楽しく学校生活を送れるように、様々な活動に取り組んでおり

ます。また、いじめの目標に中居の文字を取り入れた「なかいっしょ」が合言葉のPTAスタッフジャンパーも作成し、イベント毎に着用しながら活動しております。イベントの中でも年に一度の「中居小ふれあいまつり」では子ども、保護者、先生、地域の皆さまが共に楽しめ、あふれあうための一大イベントです。数ヶ月の準備期間を経て、焼きそば、焼きまんじゅう、もちつき、ポップコーンやわたがしなどを作って毎年盛大に開催されております。

さらには一昨年よりPTA子育て応援隊、地域の青年部の皆様と協力し合いながら、中居地区では数十年ぶりといわれた「どんどこ焼き」を復活させることができました。昔



PTAスタッフジャンパー

ながらの文化や伝統も、すべては子どもたちのために継続していきたく思いますし、こうしたPTA活動を通じて地域の皆様と共に、子どもたちの成長を見守りながら今後も支援していきたく思います。(文/矢野裕敏)

### 甘楽町 新屋小学校



集団回収

地域の皆様のご協力に感謝

本校は明治八年三月に天引学校の創立に始まり、その後新屋尋常小学校を開校し昭和

三十四年に甘楽町立新屋小学校と改称しました。今年で百十二年を迎える伝統と歴史のある学校です。

甘楽町は戦国武将・織田信長の次男、信雄が統治していた小幡藩があり庭園・武家屋敷など城下町の街並みも今も残る古き良き歴史があります。春、桜が咲く時期には武者行列のお祭りが本校の児童も当時着ていた様な着物や鎧を着て行列に参加しています。そんな甘楽町の東方の自然豊かで静かな場所に本校があります。今年度の児童数は、二百五十七名になります。今年度の「目指す学校像」は、児童・保護者・地域・教職員が笑顔あふれる学校です。

チーム新屋で、家庭・学校・地域と児童を円く囲むように見守っていきたくと思

います。PTA活動では、本部と四つの専門委員会と各学年委員会で構成されています。

主な活動として、集団回収や校内清掃、プール監視、下校時の巡回パトロール、登校時の危険箇所での旗振りなど様々な活動を行っています。

その中で、十月二十一日に集団回収が行われました。今回十回目になる活動です。地域・保護者の皆様方のご協力により回収金は児童の為に使用させていただきます。これらの収益金は児童の為に使用させていただきます。準備品の補修や家庭・学校を結び「オクレンジャー」など様々に利用しています。地域の方々には多岐にわたるご協力いただき大変ありがたく思っております。(文/高橋直樹)

### 北群馬郡 吉岡中学校



創立五十周年を迎えました

吉岡町は群馬県のほぼ中央、渋川市と前橋市と榛東村に隣接する、榛名山の東麓に広がる利根川沿いの町です。そのほぼ中央に吉岡中学校は位置しています。近年前橋市に隣接する大久保地区には、大型店舗がいくつも建設され賑わっています。高崎・渋川・伊パスの整備が進むなど発展を見せています。人口増加に伴い生徒数も増え、県内では五番目の規模の中学校となりました。

目指す生徒像は「目標に向かって、工夫・改善を加えながら、計画的に努力する生徒」です。生徒たちは勉強・部活動に意欲的に取り組む様子がみられ、学校を訪れるたびに積極的に挨拶をしてくれて、いつも元気をもらっています。

さて、本校は昭和四十三年四月に町内二校の統合により吉岡中学校を開校し、今年で創立五十周年を迎えました。十月十二日に吉中体育館で記念式典が行われ、オープニングには吉岡町伝統芸能の獅子舞保存会の方々に舞っていた

舞に感動しました。また、記念講演としてお笑い芸人のゴルゴ松本さんに「命の授業」という演題で講演していただきました。漢字研究家ということもあり、ホワイトボードを使い、漢字の持つ意味、成り立ちのおもしろさや、会場と対話しながら、笑いをかさみながら熱く訴えかける内容でした。何事にも前向きに取り組んで進んでいってほしいと生徒たちにエールを送っていたいただきました。会場は大盛り上がりで、生徒たちは心に残るすてきな体験ができたことと思います。(文/小林洋一)

### 伊勢崎市 境南中学校

本校の特色

わが境南中学校は、北には「すそ野は長し赤城山」の赤城山がどっしりと身構えていてくれ、南には「利根は坂東一の川」の利根川がゆったりと流れ、私たちの生活をさまざまな角度から支えてくれています。また、学校の南側には多くの田畑が広がり、のどかな田園地域に位置しているため、子どもたちがのびのびと学校生活を送ることができています。

昭和三十三年に二つの中学校が統合され、また、平成十七年には伊勢崎市と境南市の合併により、現在の伊勢崎市立境南中学校になりました。平成二十六年十月には、五十年という大きな節目を迎えられ、盛大な記念式典を開催することができました。

境南中学校の教育目標とし

て、「高い知性」「豊かな情操」「たくましい身体」が掲げられています。この目標を念頭に、私たちPTA役員も学校とともに子どもたちを見守りながら、各種活動に取り組んでいます。

主な活動内容として、広報委員会による年四回の広報紙発行。保健委員会の、外部講師をお招きした講演会開催。健全育成会の街頭指導、教養委員会の親子で楽しむ各種講座となります。

また、この他にも、本部役員があらゆる学校行事に参加する際着用できるように、昨年度よりお揃いのポロシャツを作りまし。今年度のポロシャツは、ひと目で境南中学校だと分かるようなカラーにした。保護者の方から高評価をいただいたようです。

このような活動や取り組みを通して、境南中学校の子ども一人一人のはつらつとした笑顔や、元気に成長している姿

### 渋川市 渋川中学校

渋川中学校創立七十周年記念式典行事

渋川中学校創立七十周年記念式典行事が平成二十九年五月三十日に挙行されました。開会にあたり根井勝弘校長先生、中澤一孝実行委員長(平成二十八年度五十一代PTA会長)よりあいさつをいただき、渋川市長 阿久津貞司様、渋川市教育長 後藤晃様より祝辞を賜りました。様より祝辞を賜りました。

そして、未来に向けてのメッセージで生徒会本部役員と生徒の皆さんが、伝統校である渋川中学校での生活や輝か

しい未来への思いを語ってくれました。校歌斉唱では、生徒、先生、招待者、保護者の皆さんと声高々に歴史ある渋川中学校の校歌を歌いました。

記念式典では、記念講演会があり渋川中学校卒業生で脚本家の登坂恵里香さんが「私の渋川(中学校時代)」と題して講話をしてくださいました。夢や希望を持ち続けることの大切さを伝えていただき、思いに残る講演会となりました。

ところで、渋川中学校創立七十周年記念式典行事の準備期間として平成二十八年十一月の運営グループ会議にて七十周年記念事業実施計画案が示され、実行委員会は、平成二十八年度PTA役員が担うこととして式典を進めることになりました。記念事業における記念誌発行や記念式典の内容は、実行委員長のもと校長先生や教頭先生と相談し進めて参りました。

特に、記念誌発行では、執筆者の取りまとめや、写真の選択など担当の方は大変なご苦労があったことを伺いました。当日配布の期限までに仕上げてください、大変頑張ってくださいました。

記念講演会の準備では、講師の登坂恵里香さんが「母校のことでありま



伝統芸能の獅子舞

を、地域の方や先生方と連携して、いま以上に見守り応援していきたくと思っております。(文/栗原千栄美)



校舎全景



登坂恵里香さんの講演会

### 前橋市 若宮小学校

夏休みの宿題お助け講座



夏休みの宿題お助け講座

すべては子どもたちのために前橋市若宮小学校は、前橋市の中心部にあるごんまりとした、でも非常にアットホームな小学校です。

他の市街地の小学校同様、児童数の減少に悩まされてお

り、それはそのままPTA活動にも影響を及ぼしています。

「夏休みの宿題お助け講座」として、外部講師を招いて書道と絵画の宿題をサポートする講座を始めました。なかなか家庭ではできない書道と絵画

実は新しい活動に挑戦できる余地ができたので

さて、このように活動の選択と集中を行うことでどんな効果が出てきたか。

たといえば昨年度から、「夏休みの宿題お助け講座」として、外部講師を招いて書道と絵画の宿題をサポートする講座を始めました。なかなか家庭ではできない書道と絵画



バザー

この宿題に取り組みとあって、この講座は申し込み受付開始と同時にすぐに満席になってしまっほどでした。

また、バザーの値付け作業を廃止し、価格を三つに絞りを廃止し、今年から新たに子どもたちに熱々のポップコーンを提供できるようにしました。

これからも「子どもたちのために」日々の活動を見直し、楽しいPTA活動を目指していきたくと思

だからこそ我々PTAは、「すべては子どもたちのために」を合い言葉に、旧来の活動を見直し、活動の「選択と集中」を行って参りました。

まず、今年度内に六回行ってきたPTAの実行委員会を三回に削減、昼間行っていた本部の会議も集まりやすい夜に変更しました。議事録はメールの同報で代替し、出金手続きも簡略化。毎年参加者募集に苦勞していた保護者向けの講演と講座は廃止し、利用者の少ない保護者向けの図書

貸し出しもやめました。

また、このように活動の選択と集中を行うことでどんな効果が出てきたか。

たといえば昨年度から、「夏休みの宿題お助け講座」として、外部講師を招いて書道と絵画の宿題をサポートする講座を始めました。なかなか家庭ではできない書道と絵画

さて、このように活動の選択と集中を行うことでどんな効果が出てきたか。

たといえば昨年度から、「夏休みの宿題お助け講座」として、外部講師を招いて書道と絵画の宿題をサポートする講座を始めました。なかなか家庭ではできない書道と絵画

### 邑楽郡 板倉北小学校

地域と共にPTA活動

板倉町は「つる舞う形の群馬県」のつるのくちばしに当たる部分に位置し、埼玉県、栃木県と隣接した地域です。町の北側には渡良瀬川、南側には利根川と河川に挟まれ、東側には平成二十四年にラムサール条約に登録された「渡良瀬遊水地」がある水郷の町

です。本校は町の北部にあり、平成二十九年の全校児童数は八十七人と郡内で一番小さな学校ですが、PTA会員の協力、結束力は自慢できるものです。

運動会は「北地区連合運動会」と称し、地域の交流の場になっており、特に本校では伝統になりつつあるPTA会員による「仮装リレー」は仮装してリレーするシンボルなものです。年々クオリティが上がりが子どもたちや地域の方も楽しみにしてくれて

また、消防団によるポンプ操法の実演や敬老の集いなど、町、地域、PTAの連携で行っています。

板倉町には四つの小学校があり、少子化の影響により四つから二つへと統廃合の検討がなされている中、PTAとしては子どもたちの環境を第一と考え、十分な議論、検討をお願いしたいと思

ます。また、消防団によるポンプ操法の実演や敬老の集いなど、町、地域、PTAの連携で行っています。

板倉町には四つの小学校があり、少子化の影響により四つから二つへと統廃合の検討がなされている中、PTAとしては子どもたちの環境を第一と考え、十分な議論、検討をお願いしたいと思



北地区連合運動会「仮装リレー」

### 編集後記

日本PTA関ブロ群馬大会が無事成功し終了しました。農大二高の素晴らしいステージは今でも心に残っています。まるで花火大会の大スターマインを思わせるような感動的なラストシーン。その場にいることができ、幸せでした。

さて、寒い季節になりましたね。私事ですが近頃血圧が気になります。「食生活に気をつけて改善します」とドクターに言い訳を言っていて

今年度のPTA行事も残り少なくなりました。健康に気をつけて乗り切りたいと思います。(小林洋一)

### 編集委員

- 高山 英記(伊・第二中)
- 横山 真一(藤・鬼石中)
- 星野 祝子(前・第五中)
- 小林 洋一(北群・吉岡中)
- 石井 秀明(前・若宮小)
- 狩野 浩之(伊・境南中)
- 矢野 裕敏(高・中居小)
- 中里 智美(藤・西中)
- 高橋 直樹(甘・新屋小)
- 針塚 重文(渋・渋川中)
- 島田 和之(邑・板倉北小)
- 中本 理(太・旭中)